

『出来ることを増やすことができた』

北海道函館盲学校の卒業式に参加させていただいて

3月22日（金）に行われた北海道函館盲学校の卒業証書授与式・修了式に参加させていただきました。毎年ご案内をいただくのですが、いつも所用と重なり参加できずにいたので、ようやく念願がかないました。

遺愛と函館盲学校・聾学校とは歴史的に非常に関係が深く、公立に移管する前は一時、遺愛が運営に関わっていたこともあったようです。遺愛の卒業生も教師として働いていました。近年は盲学校に毎年クリスマスのキャロリングで出かけ、遺愛の生徒たちがとても良い交流をさせていただいています。

今年は小学部の卒業生は1人、中学部の卒業生は2人でした。卒業生・在校生一人一人がしっかりと自分の言葉で、感謝の思い、これからの抱負を語っていました。学年が上がるにつれて本当に成長していることを実感しました。

中学部を卒業する生徒が、「出来ることを増やすことができた」と語っていたのが印象的でした。学校は、「できなかった」ことが「できる」ようになる、「知らなかったことやわからなかったことを、知ることができる、わかるようになる」ところです。そして、できるようになった喜び、わかるようになった喜びを共に分かち合うのが教育の原点でしょう。

毎年同じ事を教えていると、こんなことでできて当たり前、わかって当たり前と考え、生徒たちができなかったことをできるようになる

喜びを分かち合えなくなっているところがあるかもしれません。深く反省しました。

中学部の2人の卒業生は函館を離れ、札幌の高等部に進学します。さらに良き学びを続けて欲しいと願います。



2013年3月23日